

無限画廊

無限広報 第三回
 発行：無限画廊&無限書房
 文：高嶋PONZZ & 偉鷹仁

1999/05/15 号
 発行責任者：偉鷹仁
 イラスト：偉鷹仁

無限広報 vol3

いやあ、このところずっと『声』の5話に掛かりきりで、頭の中で廻り回ってきそうな高嶋PONZZです。皆さん、お元気ですかあ。HPの製作とか、いろいろやることあってなかなか時間がなくて。すみませんです。

壊れかけの俺（つまりは、PONZZの近況だな）

まあ、出だしに書いたとおりなんですわ、ここそこ。俺的予定では、今年上半期中に声が完結すればいいや的に考えていたんですがね。諸々の事情がありまして、ちょっと急がなきゃならん状態になりました。えらいこっちゃ。で、自ら修羅場に持ち込もうとしてるわけ。そりゃ、地獄の10丁目あたりにつっ越したくなるわな。俺、こうなったら、もう誰も俺を止められないし、

かかってくる電話にはむかつき声で対応し（偉鷹氏も一度その被害をくらい、『声』3話のイラストレータも同様）、呼び鈴鳴らす愚か者には仏頂面に対応する（町内会費集金のおばちゃんには悪いことしたな）。もう、社会不適応者一直線て感じ。

そもそもこれを書いているのだから、気分転換だし（以前は、これも気分転換ではなく本気で書いた。この文章が、小説書きの気分転換に文章を書くようになること自体、終わってる。普通、飲むとか打つとか買っただろ、気分転換だ）。

今書いている『声』4話の初校が終わり次第、もう二つの企画（一つじゃなく二つだ。勘弁してよ）を進めるために、狂いっぽなしになる。ああ、俺に安息の日々はこないのか。ドリームキャストを買ってもプレイできない日々が続くのか（そもそも買っ金がない）。

たのむ、もっと時間と金と体力をっ！（よくばりなっ）

PONZZのエッセイ

そんな状態でほんとに書けるのって話はおいといいて、今回も過激にファイヤーっ！

年金

破綻するでしょうな。日本とほぼ同じような方法で年金制度を整えてきた国は、現在年金を廃止しようとか言う話をしているらしい（約5年前のこと）。

なんでも、国の財政破綻の引き金が年金になってしまったからさうだ（そりゃやバイ）。

翻ってわが国の年金を見ていると、文化的な最低限の生活とかそんなことはどこ行ったのって感じになっている（おいおい、重大な法事違反だろ、それ）。

どうやら、65歳以上の老人でも働いている限りは年金がもらえず、逆に年金を負担しなきゃならんことになるらしい（なんじゃそりゃ）。

すなわち、65歳以上でも働いている人間は（働いて暮らしていける人間は、ってことじゃないあたりに注目）、年金なんでもらう資格なしってことだ。

まあ、そのあたり少しは改正はあるかもしれないけど、

でも、その最低ラインって、一日にご飯一膳、おがずはなして生活しかできないあたりにとどめられるはずだよ。だって、今がそれと同じかそれ以下だもん。これで、文化的な最低限の生活とは、恐れ入るね。

俺が知っているその人は、今も生きていけばいいけど、デパートだかどこかの底冷えのする場所に部屋を借りて（家賃とられてる）雨風をしのいでいる。リウマチと喘息でまっくってひどいらしく、もっちとまじな生活してる人（食べれる米が、一日二膳濃物付になったぐらいの人）からのおすそ分けで生き延びているらしい。ちなみに、ご馳走は、月に一度か二度のマグロの赤身とのこと。これには、いろいろひどい話がつきつきすぎるので、このあたりでとどめとく。書いてたら、やりきれない気分になってきた。

ともかくだ。国からの年金だけじゃ暮らしていけんから働く老人だっているんだぞって話は、お偉方は考えない。そのまま働きつめて死んでしまった人間がもらはずだった年金、どうなるんでしょうかね。

なんか、もらえるはずだった年金をもらえずに死んでいく老人、すこくがやいそ。

結局国民は国の奴隷かい。それじゃあ、江戸時代と何ら変わらんかね。いらいげんにしさらせよ。そんな法案通ったら、国民まじギレすんぞ（俺は、こうなることを予想して払ってへんけど、国民年金。国なんて信用できんもん。この国で生涯まともに生きていきたかったら、生涯に渡って生活していける職につかなきゃ駄目なんじゃないかね）。

なぜこうなった

その大半は国民に責任があると俺は思う。

おかしい法律作られたら、国民は声高にして叫ぶべきだし、それが通らなかつたら暴動してでも廃止すべき。

そもそもこの国は、官僚という名の老中と、企業と大蔵省という勘定奉行にすべてを牛耳られているわけだから、その体制からどうにかせねばならんのだけだ（つまりは、それくらい昔から現体制の礎までできているって事だな）。

でも、無理だろうな。日本人って、下手な国の人間よりもエゴイストが集まっているから、一度力を身につけると、それを自分のために使うように、制度を変えていく傾向があるからな（すなわち、革命起こしたところでもとの木阿弥ってことな。権力志向の強い人間にとっては、理想も権力を得るための道具。地位についたら即独裁者がこの国の基本。加えるなら、官僚という連中は現体制が完全に切り替わるとまず尻尾を振って自分の地位を確定してから、欲を満たすために動き出す。あーあ）。

恥や外聞ってのを身につけていたら、そんなことにはならんのだらうけど、まあ、そこまですっちゃっている人が、そんなものを感じられるほど面の皮が薄いかどうか……

欲という垢が顔中に塗らたくられ、厚くなってらるうしな。面の皮。あー、ばっちい。

政治家や官僚に比べたら、ちょっと古いけど、砒素中毒事件の林夫妻のほうが人間的に好きだね。法律っていう見えざる凶器によって、弱者をいたぶり殺すなんて真似せず、毒使って自分の手で人殺してるもん。自分の手、汚してるもんな。

最後に

爆弾発言のオンパレード。世が世なら、非国民ってあたりで銃殺刑だ。言論の自由万歳。これは事実、あるいは事実と相当近いことなんだよ。いやだよええ、まったく。



手によりて闇より導け…
混沌より来たるもの、我が

これにももう一つ反対意見があって、それでもしなけりゃ本当に国の財政破綻する、というのがあるのかもしれない。政治家や官僚が税金をどれくらい自分の財布に金を入れていたのかはわからんけど、それをさっぴいてもびーびーなのは想像に難くない(その原因が昔の政治家にあるとはいえ、ね)。

加えるなら、このような状況にしたのは政治家ではなく、企業という意見もある。とにかく、見る角度によってさまざまに物事が変化するのは当然だ。俺がここで述べたのは物事の一面であることを忘れては行けない。みんなそれぞれに、自分の見方を持ってみよう。

さて、いつものように、苦情は売り子さんに言ってくたされば、俺のところに戻ってきます(無限画廊のホームページの伝言板でも可能)。

苦情が来た場合、謝罪は次回に行きます。したっけ(したっけとは、北海道弁で、そうしたら、という意味。別れの挨拶に使われることもある)。

SEE YOU LATER!

ホームページを作りました。たいしたことやってないけど、とりあえず見に来てみてください。アドレスは以下の通り。

<http://www.marimo.or.jp/~ponzz/index.html>

お待ちします。

偉鷹です。こんにちは。

ああ、もう、体があと4つか5つつ欲しいです。というグチは置いて、まずは近況など。ついに処理の重さに耐え兼ねてペンティアムIIIを買ってしまいました。しかも500メガヘルツ!!。でも何故かぜんぜん速くならない、うええーんなぜなんだよー。今まで使ってたのはセレルンの333メガヘルツなのにー。と、パソコン使っていない人には全然関係ない話しですね、ほんとに。

つまり最近原稿をペン入れまでは手でやって、トーン処理などはパソコン上でやり始めたからなんですよ。まあ、最近のパソコンはマルチメディア向けとはいっていますが、やはり印刷レベルのグラフィック処理を行うにはまだパワー不足ですね。グラフィックはマックと昔から言われていますが、私なぞは会社で使ってる関係でWINDOWSを使わなきゃならないので、もうフラストレーションが溜まって、今回の自作パソコンはワインでマックを越えてやるうー、などと爆発し、メインメモリ最大搭載量2ギガという怪しげなマシンを組んだわけなのですが、.....。

Serial experiments lainについて

いやあ、前回のペーパーでも触れましたが、lain面白かったです。しかもとくに終了してるのに今だインターネット上では「見ました」ってお話しが新しく出てくるので、lainに狂ってホームページまで開いてしまった私としてはうれしい限りです。この前のコミックライブでは、ネット上で知り合った、T A & Aさんが企画の一端を握っている「lainカレンダーCD」の委嘱販売を受けて販売しましたが、このCD、非常に出来のいいものになっていて、しかも1000円という価格! 安い! 内容も印刷に耐えられる解像度のカレンダーデータとその他にも多数のイラスト、サイドストーリー小説など、最近出たlainのCD-ROMにも負けない内容になっていました。委嘱販売のお礼ということで最終版を1番に下さったのでとっても喜んでしまいました。このCD、通信販売の体制がまだ整わないとの事で、通販は受け付けていません。残念なことです。早く体制ができるといいなあと私も祈っているしいです。

声 第二話のイラストについて

声の第二話はPONZZが依頼したイラストレーターからの原稿が郵便事故にあったりといった事態にあつて偉鷹が急遽描くことになったのですが、期日に何としてでも間に合わせるというPONZZの希望で非常に仕上げが不満な出来になってしまいました。それ以来見るたび泣きたくるので、ついに今回初版が完売したのを機会に全カット描きなおしをさせて頂きました。文章のほうは別に変えたわけではないので、既にご覧になっていた方もご安心を。もし、もしもですが、偉鷹のイラストを気に入ってくださる人で、「ああ、こっこのほうがいい、するいつすー」なんて感じる方がありましたら、どうぞご遠慮なく「こっちはちよーだい」とおっしゃってくだされば差し上げますので、夜にまぎれて蘭討ちなどはなさらないで下さいね。

このイラスト、基本的に2枚は前と全く同じです。ただトーン処理やほかし効果などをかけただけです。それ以外の3枚は元絵から描きなおしました。PONZZにも「全然違うやーん」と笑われました(笑)。気になる方はどうぞ見に来てください。見るだけならただでっせ、ダンナ(ってだれがダンナだダンナ)。

神聖史パラダ・ハーンのこと

前回もお伝えしたこのゲーム、現在はバージョンZERO-5に向けて、さらにテスト中です。精励力によるエンジンである「精霊機関」や航法コンピュータの「妖精」などを組み合わせて自分だけのオリジナル「精霊機」を作成するルールも大分進んで、今まで煩雑だったパラメータの多さも弱冠ではありますが改善され、これ以降ルールの骨格部分には手を入れなくてもよくなりそうです。さすがにページ数がどんどん多くなり総数で40ページを越え始めたんで、完成品であるバージョン1までは無償配布しようという前提を守るために分冊化してしまいました。今回の改定では今まで「精霊機」同士の戦いが、あまりスピード感がない、とか、くるくる位置の入れ替わるドッグファイトのような感じが出てない、とかの部分を改善するための改定です。この前のゴールデンウィークを利用して改定とテストを行いました。自分ではいい感じだと思っております。WOWWOWのエンジェルリンクスが終わるまでには精励力機作成ルールを完成させたいなーと考えております。

新刊コミックのこと

新刊のコミック同人誌は最近アバロしか出してないのですが、ついに「降魔聖伝」の発刊に手をつけ始めました。問題はこれを区切りのいいところまで描いてから出すか、それとも適当な期間毎にできた分だけ発行するかということなのですが、今の所20ページくらい溜まっています。次のオリジナルファンタジーあたりを目安に一旦出そうと思っております。さて、どうなりますことやら。こいつはマジで描きたいものなのでなかなか思いきりも悪いんですけど、これが。

なんか、いつにもまして支離滅裂であります。とりあえずこのへんで、ではでは。

イベント参加予定

コミケ

6/20 コミックライブ(名古屋国際展示場)

6/27 コミックシティ(")

7/18 " "

9/5 メンズ・コミック(名古屋東別院)

コンベンション(本は売ってないよ(笑))

7/4

8/22

無限大陸TRPGコンベンション(豊田産業文化センター)

ホームページ: <http://www.japan-net.ne.jp/~itaqua>

メールアドレス: itaqua@japan-net.ne.jp

連絡先: 愛知県安城市横山町下毛賀知 51-11 中根方 公園丸

